

福島県立たむら支援学校だより vol.13

<ゆめここ祭(学校祭)>

10月15日、6回目となる『ゆめここ祭』が小学部・中学部は春山校舎（旧春山小）、高等部は石崎校舎（船引高校内）で開かれました。小学部はステージ発表、中学部は作業製品販売・作業実演、高等部は作業製品販売・カフェという形で、それぞれ発表を行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参観者を制限しての開催となりましたが、日々の学習の積み重ねや成果を来賓、保護者の皆さんに発表、披露することができました。



小学部 5・6年生ステージ発表「シン かぐや」



中学部 作業実演「家庭班 ミシングループ」



高等部 作業製品販売



中学部 2・3年 2組共同制作「春山のお人形様」

<福島県特別支援学校スポーツ大会>

10月8日、とうほう・みんなのスタジアム（福島市）で開かれた「第21回福島県特別支援学校スポーツ大会」に、高等部の生徒24人が、陸上競技、フライングディスク競技へ参加しました。これまでの練習の成果を発揮し、多くの生徒が入賞したり、自己記録を更新したりすることができました。他校の生徒と競い合うことで、更なる記録更新や競技力向上を目指したいとの思いを強くもつことができました。



男女混合 4×100mリレー

福島県立たむら支援学校



【春山校舎】Tel…0247-82-4114 Fax…0247-82-4119
 【石崎校舎】Tel…0247-82-4627 Fax…0247-82-4629
 HP…<https://tamura-sh.fcs.ed.jp> mail…tamura-sh@fcs.ed.jp



地域おこし協力隊奮闘記

熊谷 優希
 ▼プロフィール
 須賀川市出身。県外の大学を卒業後、東京で営業や経営コンサルタントとして従事。福島の震災復興・地域活性化事業に携わりたいと思っていたが、自身の希望と職務内容に食い違いが出る事が多く、働き方に疑問を持つようになる。都内で移住定住フェア等に参加し、先輩方の話を聞いてリターンを決意。資源が豊富で、さまざまな挑戦ができる土壌がある田村市に魅力を感じ、地域おこし協力隊として就任。趣味はピアノと旅行で、国内外問わず気になった所には1人旅に行くこともある。



気ままな
トラベラー

田村市の皆さん、はじめまして。8月から地域おこし協力隊に就任しました熊谷優希と申します。これからどうぞよろしくお願います。出身は須賀川市で、高校卒業後は県外の大学に進学しました。大学在学中に東日本大震災を経験し、もっと地元のために働きたい、震災の復興に関わる仕事がしたい、と強く思うようになりました。そこで震災復興事業をしていた化学メーカーに就職しましたが、希望と異なる部署で営業として従事することになり、悶々とした日々を過ごしながら5年ほど勤務してまいりました。その後、地方の中小企業や自治体の経費見直しを支援するコンサルタント会社に転職し、福島の企業や自治体の応援ができたらと思っていました。ところが、会社の方針転換に伴い自身のやりたかったこととずれが生じ始めてしまいました。自分は本当に何がしたいのだろう、何のために働いているのだろうか、もやもやを抱えたまま忙しく仕事をしていたが、ある時心身ともに疲弊してしまい、母親に電話をしてこれまでの思いを吐露しました。「何を選んでみてもどうとでもなるよ。母親は慰めるわけでも励ますわけでもなく、ただそう言いました。」



その後直ぐに退職し、福島での職先を探している中で田村市の地域おこし協力隊の募集記事を見つけました。説明会で田村市の魅力や取り組みについてお話を伺い、課題に向き合い挑戦し続けている人たちと一緒に働きたいと思い、就任に至りました。田村市に移住して間もないですが、人の温かさやゆっくりとした時間の流れに日々癒されています。すれ違う人とあいさつをするだけで気持ちや和み、また空を見上げることも多くなったように感じます。今後の目標は、田村市の魅力をたくさんの人に届けられるイベントなどを企画し、移住定住につなげられたらと思っております。また観光資源の掘り起こしも行ってきたいと思っておりますので、これからどうぞよろしくお願います。

広告欄 Advertisement

有料広告募集中

問い合わせ…総務部 総務課 (☎0247-81-2117) へ